



## 2012年度「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」 海外応募含む 22 研究が新たにスタート

株式会社 山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生）は、予防医学的研究の発展、ならびに広い視野をもった意欲的な研究者の支援を目的とする「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」の2012年度の公募を行い、『蜂製品の涙液分泌 一改善作用に関する基礎的検討と、抗ドライアイ食品としての臨床評価』など22テーマを助成することを決定しました（採択テーマおよび研究者は次頁をご覧ください）。本基金は2008年度に設立し、本年度の採択で145の研究テーマを支援しています。

10月5日に、山田養蜂場にて採択証書交付式が開催されました。交付式では、弊社専務取締役 <sup>はまい</sup> 濱井重孝より、「常に社会のひとりの人のために」との当社の理念を共有いただき、研究のための研究ではなく、人の命や健康を支えるための尊い価値のある研究に、誇りを持って取り組んでいただきたい」と挨拶し、採択研究者に対して大きな期待を寄せました。また、採択者を代表して同志社大学大学院・<sup>すぎもとほちろう</sup> 杉本八郎客員教授が「今回採択された研究を進め、天然物であるローヤルゼリーを、21世紀の大きな課題である認知症の予防・治療につなげられるように頑張りたい」と決意を述べられました。



▲ 2012年度 みつばち研究助成基金 採択研究者の皆様

※交付式に参加された採択研究者（16名）の写真を撮影しておりますので、ご入用の方はご連絡ください。各所属機関の所在地（p.2,3 参照）の報道関係者様には、同封致します。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 山田養蜂場 広報室 柏原・寺田  
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194  
TEL:0868-54-1906（月～金 9:00～17:30、土日祝除く）  
FAX:0868-54-3346 <http://www.bee-lab.jp/>

山田養蜂場「2012 年度 みつばち研究助成基金」採択研究テーマならびに研究者

新規応募研究枠

	研究テーマ	氏名	所属(都道府県)
1	ミツバチ産品からの神経保護・再生作用を有する新規化合物の探索	いずみ やすひこ 泉 安彦	京都大学大学院薬学研究科(京都府)
2	プロポリスおよびプロポリス構成ポリフェノールのエネルギー代謝への影響	おさかべ なおみ 越阪部 奈緒美	芝浦工業大学システム理工学部(埼玉県)
3	乏精子症、精子無力症に対するローヤルゼリーの効果	きむら ふみのり 木村 文則	滋賀医科大学附属病院(滋賀県)
4	プロポリスの加齢、糖尿病白内障予防効果の検討	くぼ えり 久保 江理	金沢医科大学眼科学講座(石川県)
5	月経前症候群(PMS)月経前不快気分障害(PMDD)に対するローヤルゼリーの効果	たけだ たかし 武田 卓	近畿大学東洋医学研究所(大阪府)
6	レスベラトロールの歯周病予防効果に関する研究	たまき なおふみ 玉木 直文	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(徳島県)
7	プロポリスに囲まれた居住環境におけるアレルギー予防効果の検討	と き のりこ 土佐 紀子	北海道大学大学院医学研究科(北海道)
8	加齢による免疫低下ならびに寿命延長に対するプロポリスの作用	なおえ よしのり 直江 吉則	国立長寿医療研究センター研究所老化機構研究部(愛知県)
9	運動による海馬ニューロン新生促進に対するプロポリス摂取の有効性の検証	にしじま たけし 西島 壮	首都大学東京大学院人間健康科学研究科(東京都)
10	ミツバチ産品によるコリン供給に基づいたアンチエイジング効果	やなか のりゆき 矢中 規之	広島大学大学院生物圏科学研究科(広島県)
11	蜜蝋の添加によるDHA・EPAの吸収率向上効果に関する研究	わたなべ なかみち 渡辺 陸行	昭和女子大学生生活科学部(東京都)
12	グネチンCの胆汁酸代謝への影響とインクレチンを介したメタボリックシンドローム治療への応用	わたなべ みつひろ 渡辺 光博	慶應義塾大学大学院政策メディア研究科(東京都)

継続推進研究枠

	研究テーマ	氏名	所属(都道府県)
13	ホールアウト放射性物質の摂取による内部被曝低減化に対するミツバチ産品の効果	えのもと しゅういち 榎本 秀一	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(岡山県)
14	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)などの肝障害に対するプロポリス成分の効果	おがわ ともひろ 小川 智弘	近畿大学工学部(広島県)
15	ローヤルゼリーによるコラーゲンクロスリンクを介した骨粗鬆症の予防効果	か く まさる 加来 賢	新潟大学大学院医歯学総合研究科(新潟県)
16	ロイヤルゼリーの中樞神経系への薬効評価	すぎもと はちろう 杉本 八郎	同志社大学大学院脳科学研究科(京都府)
17	低酸素ストレスによる脳機能低下に対するプロポリスの予防効果ならびにその機序の解明	たけ ひろ 武 洲	九州大学大学院歯学研究院(福岡県)
18	蜂産品の涙液分泌 —改善作用に関する基礎的検討と、抗ドライアイ食品としての臨床評価	つばた かずお 坪田 一男	慶應義塾大学医学部(東京都)

19	プロポリス摂取によるインスリン抵抗性改善を介した糖尿病および合併症の予防	まるなか よしのり 丸中 良典	京都府立医科大学大学院医学研究科 (京都府)
20	ローヤルゼリーとメリンジョレスペラトロールによるゲノム安定性と細胞恒常性への効果の研究	よしおか けんいち 吉岡 研一	国立がん研究センター研究所ゲノム安定性研究分野(東京都)
21	Mechanism of Honey-Induced Epithelial Mesenchymal Transition in Wound Repair (蜂蜜の創傷治癒メカニズムの解明)	Elia Ranzato	University of Piemonte Orientale(イタリア)
22	Preclinical Trial of Ethanol Extract of Melinjo Seeds for Pancreatic Cancer Prevention (メリンジョレスペラトロールの膵臓がん予防作用)	Narayanan K. Narayanan	New York University(アメリカ)

(各 50 音順)

※交付式欠席者 (Elia 様、Narayanan 様) および代理出席者 (西島様、久保様、渡辺光博様、坪田様) につきましては、証書交付の写真はございませんので、ご了承ください。

### <みつばち研究助成基金の設立と本年度の活動>

「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」は、山田養蜂場が、「ミツバチ」と「予防医学」に関する優れた研究の支援を目的として、2008 年度、創業 60 周年を機に設立した基金です。これまでに医学や薬学、生物学、生態学、機械工学などの幅広い分野から約 650 テーマの応募があり、123 件の研究が実施されてきました。さらに一般公募に加えて、2009 年度は深刻化した蜂群崩壊症候群(ミツバチ CCD)の原因探索と現場での対策・予防に関するテーマを、2011 年度は放射能障害の軽減に関するテーマを公募するなど、いま現在の社会が直面している重要な課題にも取り組んでいます。

第 5 回目となる本年度は、意欲や社会貢献度の高い研究者に対する継続的な支援を目的として、公募枠を 2 つ設けました。1 つ目は、採択歴のない研究者を対象に、予防医学的観点からの幅広いテーマを公募する「新規応募研究」枠。2 つ目は、採択歴のある研究者とその共同研究者を対象に、成果の芽が出つつある研究を継続的に支援する「継続推進研究」枠です。

2012 年 5 月から 2 ヶ月間にわたって国内外から研究テーマを募り、昨年度の 148 件を上回る 164 件の応募をいただきました。そして、審査員長の岩手大学地域連携推進センター 名誉教授 鈴木幸一先生をはじめ、武庫川女子大学国際健康開発研究所 所長 家森幸男先生、人間総合科学大学人間科学部 小林修平先生、東北大学大学院医学系研究科 教授 辻一郎先生、東北大学加齢医学研究所 教授 荒井啓行先生など 6 名の外部審査員を含む審査委員会による厳正なる審査を経て、研究者 22 名 (22 テーマ) への助成が決定しました。

「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」の詳細は、みつばち健康科学研究所ホームページ (<http://www.bee-lab.jp/>) をご覧ください。

### <山田養蜂場と研究開発>

株式会社 山田養蜂場は、ミツバチの恩恵であるローヤルゼリーやプロポリス、蜂蜜、花粉荷 (かふんか)、ミツロウ、蜂の子などのミツバチ産品を製造・販売しております。山田養蜂場の研究開発は、創業者である現会長・山田政雄が、娘の健康を願って始めたローヤルゼリーの研究を起源としています。以来、予防医学的研究とミツバチ研究の発展に貢献するため長年にわたる研究を続け、2006 年 5 月には、みつばち健康科学研究所を設立。予防医学の観点からミツバチ研究および天然素材の有効性を追求する研究活動を続けています。